

# 高齢期の住まいに関するアンケート調査結果

住宅課

## 1 調査目的

住まいに対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の高齢者居住安定確保計画の改定と住宅施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象等

調査対象: 県政モニター836人(うちインターネットモニター507人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和2年7月14日～7月31日

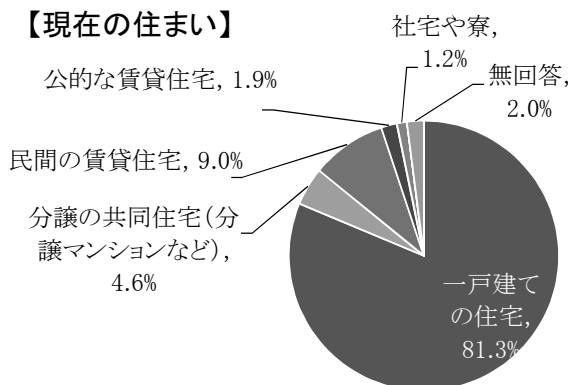
回収結果: 744人(回収率89.0%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。  
そのため、合計が100%にならない場合があります。

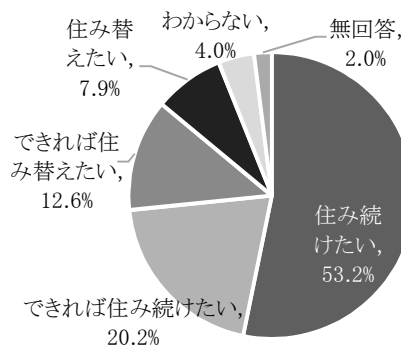
## 3 結果概要

### ○ 現在の住まいについて

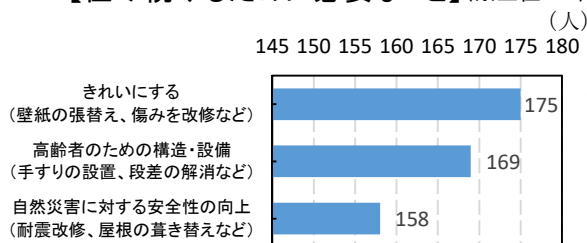
#### 【現在の住まい】



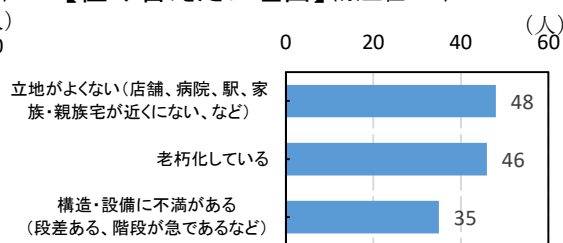
#### 【住み替えの意向】



#### 【住み続けるために必要なこと】(※上位3つ)

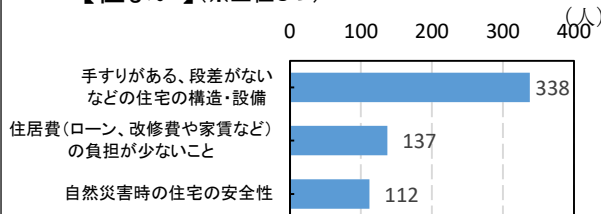


#### 【住み替えたい理由】(※上位3つ)

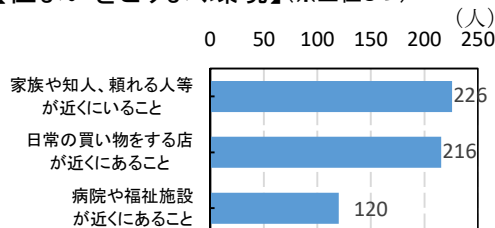


### ○ 高齢者が安心して居住するために最も必要だと思うこと

#### 【住まい】(※上位3つ)



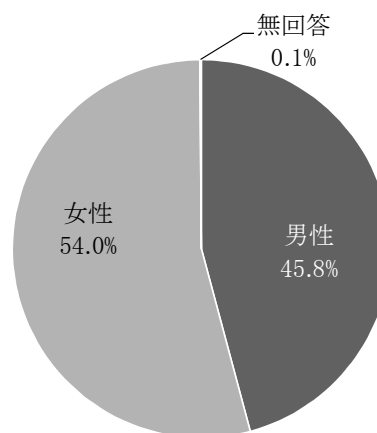
#### 【住まいをとりまく環境】(※上位3つ)



#### 4 回答者属性

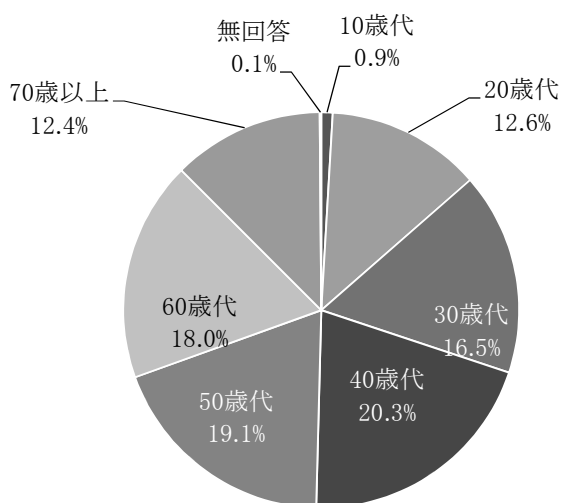
##### (1) 性別

	人数	割合
男性	341	45.8%
女性	402	54.0%
無回答	1	0.1%
計	744	100.0%



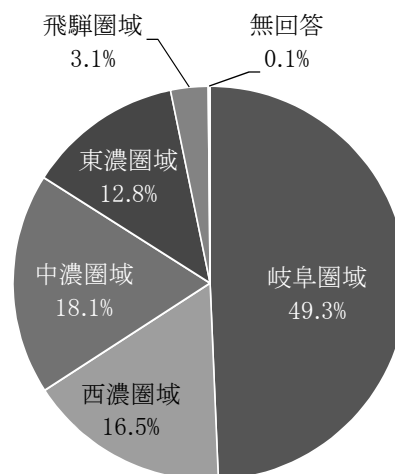
##### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	7	0.9%
20歳代	94	12.6%
30歳代	123	16.5%
40歳代	151	20.3%
50歳代	142	19.1%
60歳代	134	18.0%
70歳以上	92	12.4%
無回答	1	0.1%
計	744	100.0%



##### (3) 居住圏域別

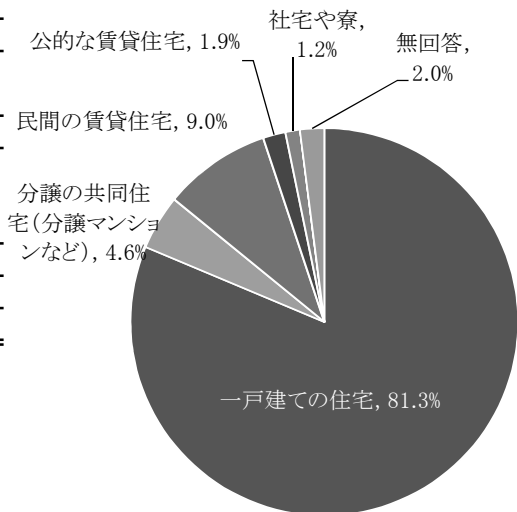
	人数	割合
岐阜圏域	367	49.3%
西濃圏域	123	16.5%
中濃圏域	135	18.1%
東濃圏域	95	12.8%
飛騨圏域	23	3.1%
無回答	1	0.1%
計	744	100.0%



## 5 調査結果

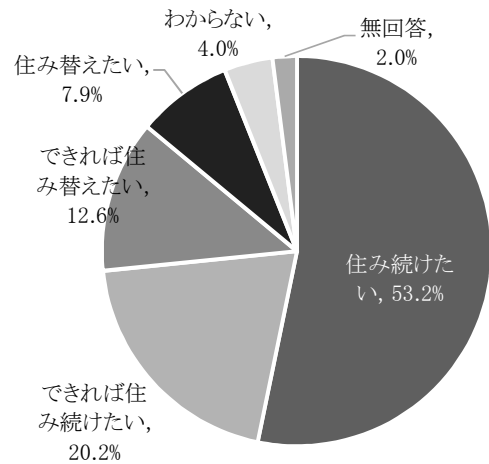
問1 あなたが現在お住まいの住宅は、次のうちどれにあてはまりますか。

	人数	割合
一戸建ての住宅	605	81.3%
分譲の共同住宅（分譲マンションなど）	34	4.6%
民間の賃貸住宅	67	9.0%
公的な賃貸住宅（県営住宅、市営住宅、県住宅供給公社賃貸住宅など）	14	1.9%
社宅や寮	9	1.2%
その他（老人ホームなど）	0	0.0%
無回答	15	2.0%
計	744	100.0%



問2 あなたは、今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいと思いますか。

	人数	割合
住み続けたい	396	53.2%
できれば住み続けたい	150	20.2%
できれば住み替えたい	94	12.6%
住み替えたい	59	7.9%
わからない	30	4.0%
無回答	15	2.0%
計	744	100.0%

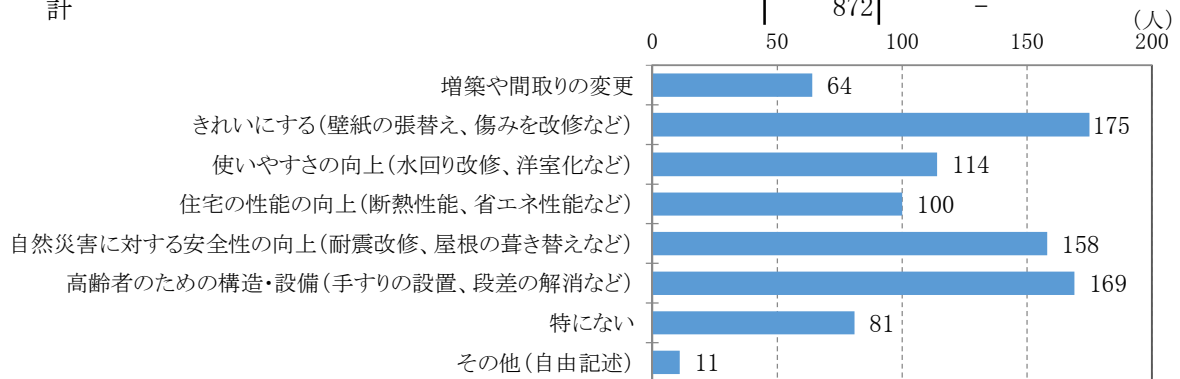


※住み替え このアンケートでは、転勤などの外的な要因に伴う転居とは異なり、住居自体を要因として住まいを移すこととしています。

問3 (問2で「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と答えた方のみ)  
これからも現在の住宅に住み続けるために、必要だと考えていることはありますか。

※3つ以上選択した回答は無効とした。(複数回答) 回答者 519 人

	回答数	割合
増築や間取りの変更	64	12.3%
きれいにする(壁紙の張替え、傷みを改修など)	175	33.7%
使いやすさの向上(水回り改修、洋室化など)	114	22.0%
住宅の性能の向上(断熱性能、省エネ性能など)	100	19.3%
自然災害に対する安全性の向上(耐震改修、屋根の葺き替えなど)	158	30.4%
高齢者のための構造・設備(手すりの設置、段差の解消など)	169	32.6%
特にない	81	15.6%
その他(自由記述)	11	2.1%
計	872	-



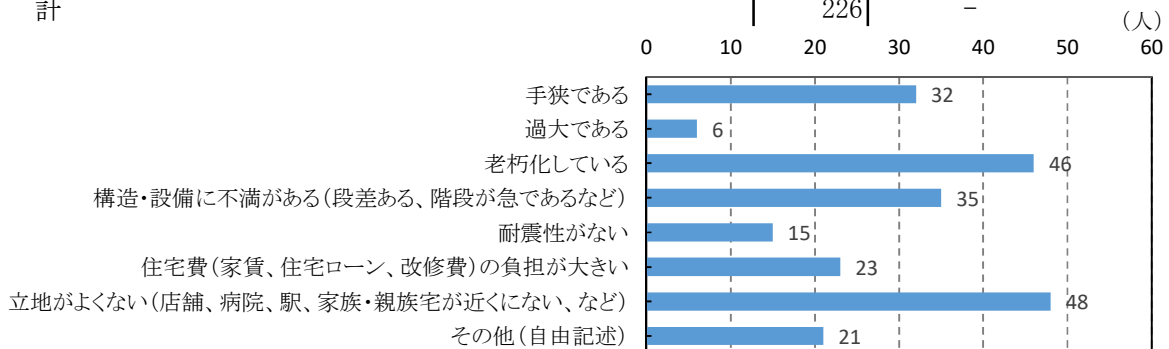
「その他」のうち主なもの

- ・ 修繕等にかかる費用の捻出
- ・ 地域の人と人のつながりを強くする。

問4 (問2で「できれば住み替えたい」、「住み替えたい」と答えた方のみ)  
その理由は何ですか。

※3つ以上選択した回答は無効とした。(複数回答) 回答者 144 人

	回答数	割合
手狭である	32	22.2%
過大である	6	4.2%
老朽化している	46	31.9%
構造・設備に不満がある(段差ある、階段が急であるなど)	35	24.3%
耐震性がない	15	10.4%
住宅費(家賃、住宅ローン、改修費)の負担が大きい	23	16.0%
立地がよくない(店舗、病院、駅、家族・親族宅が近くにない、など)	48	33.3%
その他(自由記述)	21	14.6%
計	226	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 一戸建てに住みたい
- ・ 自治会活動が多すぎる

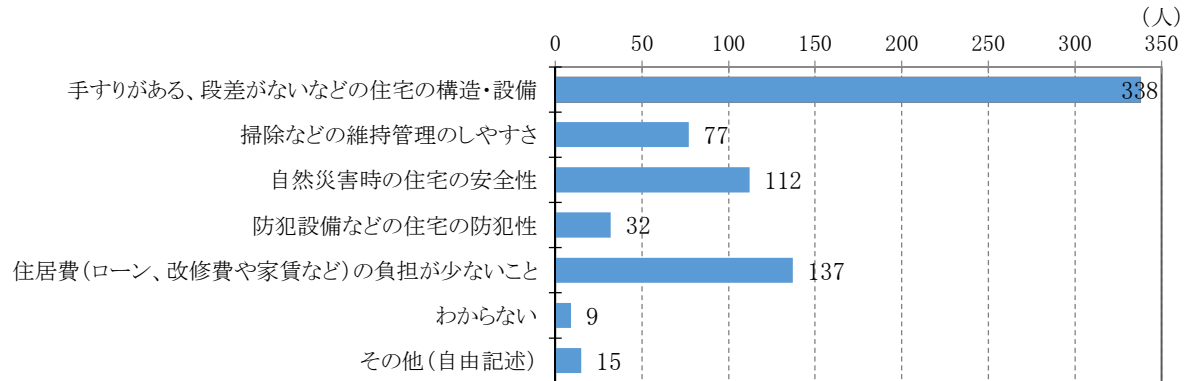
※問5及び問6にある「高齢者」は、65歳以上としています。

問5 高齢者が安心して居住するために、住まいに最も必要だと思うものを1つあげてください。

※2つ以上選択した回答は無効とした。

回答者 720人

	回答数	割合
手すりがある、段差がないなどの住宅の構造・設備	338	46.9%
掃除などの維持管理のしやすさ	77	10.7%
自然災害時の住宅の安全性	112	15.6%
防犯設備などの住宅の防犯性	32	4.4%
住居費(ローン、改修費や家賃など)の負担が少ないこと	137	19.0%
わからない	9	1.3%
その他(自由記述)	15	2.1%
計	720	-



「その他」のうち主なもの

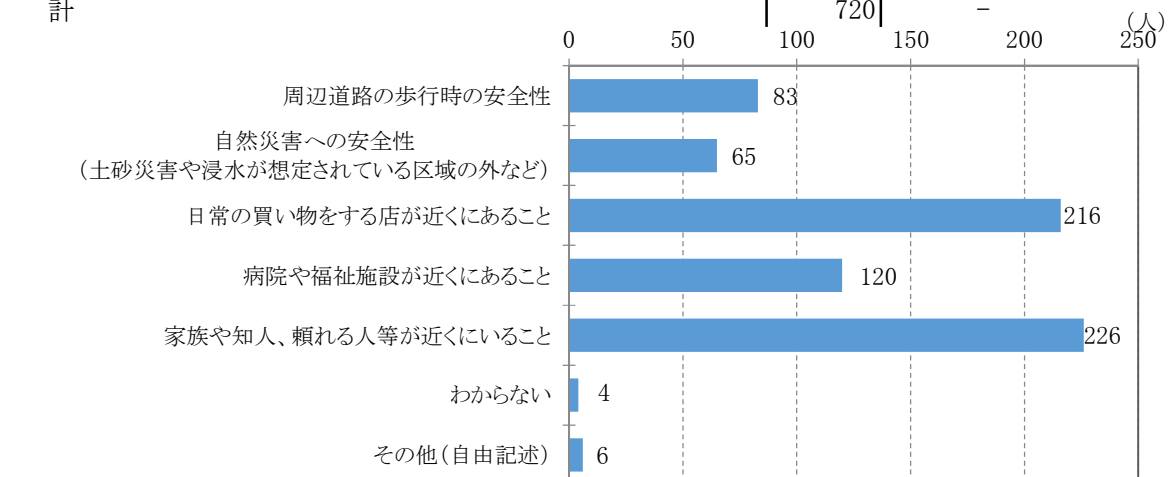
- ・ 介護ヘルパーの助けが借りれる住宅
- ・ 家の中で倒れていたりしたら気付くことができるようにするよう、携帯で確認できるサービスを提供する

問6 高齢者が安心して居住するために、住まいをとりまく環境として最も必要だと思うものを1つあげてください。

※2つ以上選択した回答は無効とした。

回答者 720人

	回答数	割合
周辺道路の歩行時の安全性	83	11.5%
自然災害への安全性 (土砂災害や浸水が想定されている区域の外など)	65	9.0%
日常の買い物をする店が近くにあること	216	30.0%
病院や福祉施設が近くにあること	120	16.7%
家族や知人、頼れる人等が近くにいること	226	31.4%
わからない	4	0.6%
その他(自由記述)	6	0.8%
計	720	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 公共交通機関の充実、拡大

問7 その他、県の住宅に関する施策に対して、ご意見などがございましたらお聞かせください。

(主なもの)

- ・ たまに補助金制度の話聞くがむずかしすぎて知識がないからわからない。わかりやすく誰でも情報を手軽に得られるようにしてほしい。
- ・ 近年空家が増加している為新築ばかりを建て続けるのではなく、空家を再利用する対策をしていくと良いと思います。
- ・ 自分が高齢期になったとき住むところがあるか不安であり、施策もよくわからない。
- ・ 高齢者施設の充実
- ・ 住宅がいろいろな場所に多くなってきましたが、それに伴う交通ラインの設定が遅れている。(特に若いうちは良いが、高齢になると生活しにくい)
- ・ 近年100年に一度といわれる異常気象が多発している。被害が少なくなるような施策を期待したい。
- ・ 少子高齢化については、近隣の方々の見守りの取り組みが今以上に必要だと思います。
- ・ 県営住宅が老朽化してスラム化している。再整備を行い、公営住宅の役割を果たせるよう、住宅弱者を幅広く認定して、まっとうな住処に住めるようにしてほしい。高齢者、障がい者、子育て世代だけでなく、若年単身者で保証人を見つけられない人たちを支援してほしい。